

100年に一度のパンデミックのなかで

今、大災害に匹敵する規模で感染者が増えています。

なぜここまで増えてしまったのかは、あえて問いません。

病院はもちろん診療所も疲弊していますが、会員の医療機関には、今回の国・東京都からの要請に対して、先の見えないなか、向こう一ヶ月は頑張ろうと協力をお願いしました。

在宅医療の先生方は本当に頑張って、自宅療養の方の重症化を防ぐべく、日夜奮闘しています。ただ限界があるので、行政は、ぜひ中等症を治療できる臨時医療施設を早急に開設して下さい。

100年に一度のパンデミック。

100年前のスペイン風邪は、終息に3年以上かかりました。

私たちは今、歴史的な戦いのなかにいます。コロナも長丁場になるでしょう。

都民の皆さん、デルタ株は、従来株と全く違います。新しいウイルスの襲来と考え、この難局を乗り切るために、昨年第一波の時を思い出し、自らの行動を見直していただけませんか。ぜひお願いします。

国や都に頼らない、日本の皆さん一人ひとりのコロナに負けない戦いぶりを歴史が見ています。

東京都医師会

会長 尾崎 治夫